

平成 26 年 8 月 19 日

平成 26 年度病害虫発生予察注意報（第 2 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの新成虫）
2. 対象作物：カキ、ブドウ、キウイフルーツ
3. 対象地域：県北・中部
4. 発生量：多
5. 加害期間：8月下旬～
6. 注意報発令の根拠：
 - 1) 紀の川市粉河の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数は、7月2半旬以降、平年に比べて多く、チャバネアオカメムシが8月1・2半旬に918頭（平年134頭）、ツヤアオカメムシが287頭（同43頭）、クサギカメムシが283頭（同109頭）と非常に多かった（第1表）。
 - 2) 本年のヒノキ花粉飛散数比（本年／前年）は0.2であり、カメムシの発生量に対して餌となるきゅう果の量が少ないと考えられるため、果樹園への飛来が多いと予想される。
 - 3) 県北部のカキ園地では、8月10日の台風11号通過後に果樹カメムシ類の飛来が散見されており、一部の園では被害もみられている。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 果樹カメムシ類の飛来量は園地間差が大きいので、飛来が確認された場合は速やかに薬剤による防除を実施する。
 - 2) 台風通過後や強風後には、一時的に発生が多くなることがあるので注意する。
 - 3) 今後の発生動向については農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報（<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyohou.html>）や各地域の振興局、JA等の情報を参考にする。
 - 4) 農薬については、農林水産消費安全技術センター（FAMIC）の農薬登録情報提供システム（http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm）で最新の登録情報を参照し、適正に使用する。

第1表 紀の川市粉河における果樹カメムシ類の予察灯誘殺消長

月	半旬	チャバネアオカメムシ		ツヤアオカメムシ		クサギカメムシ	
		2014年	平年値	2014年	平年値	2014年	平年値
6	1	262	7	46	6	10	0
	2	141	19	319	22	29	2
	3	27	8	131	21	3	4
	4	22	45	77	60	9	8
	5	60	42	132	41	10	12
	6	180	63	93	84	12	17
小計		692	184	798	233	73	42
7	1	162	82	104	39	13	14
	2	373	47	128	27	30	20
	3	495	57	111	15	104	24
	4	459	64	86	26	110	35
	5	430	47	132	16	134	53
	6	310	73	145	25	142	80
小計		2229	370	706	148	679	224
8	1	483	68	162	24	146	53
	2	435	66	125	19	137	56
小計		918	134	287	43	283	109

* 平年値：2004～2013年の平均値

和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在調べ

担当：和歌山県農作物病害虫防除所
紀の川駐在 木村、間佐古 TEL:0736(73)2274